

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年9月2日(2024.9.2)

【公開番号】特開2023-49396(P2023-49396A)  
 【公開日】令和5年4月10日(2023.4.10)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-066  
 【出願番号】特願2021-159103(P2021-159103)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10(2006.01)

A 6 1 B 3/14(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 3/10 1 0 0

A 6 1 B 3/14

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月23日(2024.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼を撮影するための眼科撮影装置であって、

光源からの光を測定光路と参照光路に分割し、前記被検眼に対物レンズを介して導いた測定光の戻り光と、前記測定光に対応する参照光と、のスペクトル干渉信号を、検出器によって検出するOCT光学系と、

前記スペクトル干渉信号の一部に生じる飽和信号であって、前記測定光が前記対物レンズによって反射された反射光に基づく飽和信号を用いることなく、前記スペクトル干渉信号に基づくOCTデータを取得するOCTデータ取得手段と、

30

前記OCTデータを出力する出力手段と、

を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項2】

請求項1の眼科撮影装置において、

前記スペクトル干渉信号の前記飽和信号を検出する検出手段を備え、

前記OCTデータ取得手段は、前記検出手段によって前記飽和信号が検出された場合に、前記スペクトル干渉信号の前記飽和信号を用いることなく、前記OCTデータを取得することを特徴とする眼科撮影装置。

40

【請求項3】

請求項1または2眼科撮影装置において、

前記スペクトル干渉信号の前記飽和信号を、前記飽和信号とは異なる信号に基づいて補間する補間手段を備え、

前記OCTデータ取得手段は、前記補間手段に補間された前記スペクトル干渉信号に基づくOCTデータを取得することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれかの眼科撮影装置において、

前記測定光のフォーカス位置を調整するフォーカス調整部と、

前記被検眼の視度に応じた前記フォーカス位置に、前記フォーカス調整部を配置するフォーカス制御手段と、

50

を備え、

前記 OCT データ取得手段は、前記フォーカス調整部が所定の位置に配置される場合に、前記スペクトル干渉信号の前記飽和信号を用いることなく、前記 OCT データを取得することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかの眼科撮影装置において、

前記 OCT データ取得手段は、前記測定光が前記対物レンズにおける所定の位置を通過する場合に、前記スペクトル干渉信号の前記飽和信号を用いることなく、前記 OCT データを取得することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれかの眼科撮影装置において、

前記被検眼に前記対物レンズを介して可視光を照射し、前記被検眼のカラー眼底画像を撮影する撮影光学系を備え、

前記 OCT 光学系の前記測定光は赤外光であって、

前記可視光の反射を抑制するためのコーティングが前記対物レンズに施され、

前記対物レンズによる前記赤外光の前記反射光が、前記飽和信号の処理によって取り除かれ、前記対物レンズによる前記可視光の前記反射光が、前記コーティングによって取り除かれることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 7】

被検眼を撮影するための眼科撮影装置であって、光源からの光を測定光路と参照光路に分割し、前記被検眼に対物レンズを介して導いた測定光の戻り光と、前記測定光に対応する参照光と、のスペクトル干渉信号を、検出器によって検出する OCT 光学系を有する眼科撮影装置にて用いる眼科撮影プログラムであって、

前記眼科撮影装置のプロセッサに実行されることで、

前記スペクトル干渉信号の一部に生じる飽和信号であって、前記測定光が前記対物レンズによって反射された反射光に基づく飽和信号を用いることなく、前記スペクトル干渉信号に基づく OCT データを取得する OCT データ取得ステップと、

前記 OCT データを出力する出力ステップと、

を前記眼科撮影装置に実行させることを特徴とする眼科撮影プログラム。

10

20

30

40

50